



NEWSLETTER

Vol.111

16th, March 2026

「GGK Tokyo 2026」

空手を通じた女性エンパワーメントの取り組みがアジアへ拡大

日本空手道会館でアジア初の指導者養成セミナー

WKFが推進するGuardian Girls Karate (GGK) プログラムの一連のイベントが、2026年3月7日から9日にかけて東京で開催された。

本プログラムは、発足から4年目を迎えた現在、各大陸連盟加盟国 (NF) を対象とした認定インストラクター養成の段階へと発展している。

今回の「GGK Tokyo 2026」は、同プログラムをアジア地域へさらに拡大する重要な節目となるものであり、アジア各国からの参加者が集う国際的なイベントとなった。特に、国際女性デー (International Women's Day) の時期に合わせて開催されたことにより、女性と少女の安全と尊厳を守るための空手の役割が改めて示される機会となった。



日本空手道会館
(江東区辰巳)にて

「GGK Tokyo 2026」の主要プログラムとして、3月7日および8日には日本空手道会館において、アジア空手連盟加盟国を対象とした指導者養成セミナーが開催された。

本セミナーにはアジア10カ国から参加者が集まり、2日間にわたる講義と実技研修を経て、16名の認定インストラクターが新たに誕生した。今回認定を受けた指導者たちは、それぞれの国において同プログラムを実施・普及する資格を得ることとなり、今後アジア地域におけるGGKプログラムのさらなる展開が期待されている。

また、3月8日の国際女性デー当日には、空手等護身術未経験の女性を対象とした公開セミナーも同時開催され、シンプルかつ効果的な空手の動きを学ぶ機会を提供した。



初心者向け公開セミナーの様子

駐日スペイン大使館で記念レセプション 外務省の長年の支援に感謝

「GGK Tokyo 2026」の締めくくりとして、3月9日には駐日スペイン大使館（港区六本木）において記念レセプションが開催された。レセプションには、駐日スペイン大使をはじめ、政府関係者、スポーツ団体関係者、空手関係者など多くの来賓が参加し、盛大に開催された。



写真：左から右へ

衆議院議員（元文部科学大臣）柴山昌彦氏、全日本空手道連盟会長 笹川善弘氏、世界空手連盟事務総長 奈藏稔久、全日本空手道連盟名誉会長 笹川堯氏、外務副大臣 堀井巖氏、駐日スペイン大使 イニゴ・デ・パラシオ氏、ガーディアン・ガールズ・インターナショナル代表 小山田真氏、日本オリンピック委員会会長・参議院議員 橋本聖子氏、参議院議員（元空手世界選手権優勝者）若井敦子氏

本レセプションでは、GGKプログラムの推進に長年にわたり多大なる支援と協力をいただいていた外務省への謝意が表され、岩井外務副大臣に対してWKFおよびKIFより感謝の品が贈呈された。



全日本空手道連盟会長とWKF事務総長の間で、「Guardian Girls Karate」プログラムの推進に関する覚書（MoU）が調印された。この覚書は、女性と少女のエンパワーメントと性差に基づく暴力防止の取り組みをさらに推進していくための重要な枠組みとなるものである。

今回の東京での一連の取り組みは、アジア地域における同プログラムの発展に向けた重要な一歩となり、これからより多くの国々へ展開していく上で、東京が重要な拠点となっていることを示すものとなった。空手が持つ教育的価値と社会的役割を活かした本プログラムは、今後も各国の関係機関と連携しながら世界各地でその活動を広げていく予定である。